

# まぼろしへのかけはし

基本理念 希望のある医療

## 地域包括ケアシステム

地域医療連携室 岩村 京子

市町村が中心となり、高齢や障害により介護が必要になっても、自宅など住み慣れた生活の場で自分らしい生活を続けていけるように、医療と介護が連携して在宅医療・介護を一体的に提供できる体制構築に取り組んでいます。



### 【我が国の財政の現状！】

我が国の歳入のうち、税収で賄われているのは約 5 割に満たず、いわゆる借金で賄われています。高齢化が進むことに伴い、年金、医療、介護などの社会保障費は大幅に増えることが見込まれています。社会保障の支え手である勤労者世代の割合が減っていく中で、社会保障の財源の確保が重要な課題です。

### 【今後の高齢者の見通し！】

1965 年では、20 歳から 64 歳人口 9.1 人に対して 65 歳以上の人口が 1 人の割合でしたが、2025 年には 1.8 人に対して 1 人の割合になります。

高砂市でも 2010 年に 93,901 人の人口が 2025 年には 7,953 人と約 6,000 人の減少となり、高齢者の割合が増えていくことが予測されています。

### 【地域包括ケアシステム？・・・】

高齢者の尊厳保持と自立生活支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れたところで生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制の構築を市町村が主体となって行うことが進められています。

地域包括ケアシステムには 5 つの要素と「自助・互助・共助・公助」が必要といわれています。特に本人・家族の在宅生活を選択することの意味を理解し、心構えが必要といわれています。そして少子高齢化や財政状況から「共助」（介護保険など保険料の負担）や、「公助」（税金による負担）に期待することが難しく、「自助」（自分のことは自分で）「互助」（お互いに支え合って）の役割が大きくなることを意識した取り組みが必要であるといわれています。

高齢の方が住み慣れた地域で暮らしていくために生活支援サービスと高齢者の方自身の社会参加が必要で、見守り、外出支援、趣味活動、健康づくりなど…元気な高齢者の方が生活支援の担い手として活躍することも期待されています。

人口構成の推移



## 高齢者看護の取り組み



兵庫県立大学老年看護専門看護師 中筋美子先生  
(前列左)と高齢者ケアプロジェクトのメンバー

私たち看護師は、常に患者さま・ご家族さまに寄り添った看護ケアの提供を心がけています。地域の方達が不安なく、安心して健康に生活が送れるように支援していきたいと考えています。

高齢者ケアプロジェクトでは、高齢者看護について兵庫県立大学老年看護専門看護師と共に高齢者への関わり方などのステップアップを目指し勉強しています。

入院によるせん妄や認知症の進行を防ぎ、住み慣れた場所で自分の人生を楽しんでいただけることを願い支援に努めています。

## 紹介受診のお願い

当院では、地域包括ケアシステムの実現に向け、病診連携をより深め、地域における診療所と病院の役割分担を進めて参ります。地域の診療所の先生方と密接に連携し、役割に応じた質の高い安全、安心な医療をご提供していきたいと考えています。

診療所の先生方におかれましては、初診で受診された患者さまが「かかりつけ医」の紹介状をお持ちでない場合、地域医療連携室を通じて紹介状をお願いさせていただきますことがありますので、ご理解の上ご協力よろしくお願い致します。

## お知らせ

### 1. 3月のホッとひと息寄り道講座



テーマ：「**地域包括ケアシステム ～2020年オリンピックその5年後は・・・～**  
講師： 看護師  
場所： 正面玄関ホール 公衆電話前  
日時： 3月7日(月)、23日(水) 10:00～10:30

### 2. 麻酔科からのお知らせ

麻酔科では、ペインコントロール（痛みの緩和）を行っております。  
4月からは、金曜日のみとなりますのでよろしくお願い致します。  
受付は、8時30分から11時となっております。  
初診の方は、なるべくかかりつけ医のご紹介状をご持参ください。  
かかりつけ医から地域医療連携室を通じて診察予約して頂けます。



<カトレア>

きぼうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号  
TEL 079-442-3981(内線5146)  
FAX 079-443-1401  
ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>